

第4回URAシンポジウム&第6回RA研究会

「私大セッションについて」

2014. 9. 18 10:15-11:45

北海道大学学術交流会館第4会議室

S-15 関西大学 角谷賢二

私立大学ではURAは可能か？

- * URAの組織化は進めたいが、資金がない。
- * 研究力も高めたいが、従来の伝統の壁を破れない。
- * 産学連携の組織がすでに存在し、そことの連携が難しい。
- * 研究者は1匹オオカミ的存在で連携が苦手である。さらに、URAの下手な口出しは、好まれない。
- * 私立大学では、経営のほとんどの資金を学生の授業料から引き出している。資金は、学生の大切なお金である。そんなお金がURA採用のため使うことができるか？

平成26年度学校基本調査 (速報値)(文部科学省)

	大学数	教員数	学生数
国立	86	64,252	612,147
公立	92	13,015	147,981
私立	603	103,615	2,094,821
合計	781	180,882	2,854,949
私大率	77.2%	57.3%	73.4%

セッションのテーマ

「私大の研究力強化への新たな取組」

～国公立との違い、私大だからできるユニークな取組～

概要

- * 日本の大学の77%、大学生の73%を擁する私立大学は、日本の高等教育の不可欠な存在です。また、大学の使命の一つである「研究」の活性化を推し進め、イノベーションの芽を育む研究力を強化することが強く求められており、そのためには研究者がより研究活動に専念できる研究推進支援体制を整備することが重要です。
- * このセッションでは幾つかの私立大学における独自の研究推進体制、URA組織、その活動などを紹介し、有識者からの俯瞰的なコメントも頂きながら、私立大学の研究力強化への期待、ユニークな取組等について議論します。このセッションが多くの機関にとっての研究推進支援体制の構築、個々のURAの資質の向上の一助になれば幸いです。

「私大の研究力強化への新たな取組」

～国公立との違い、私大だからできるユニークな取組～

私大セッション

【日時】2014年9月18日(木)午前 (10:15～11:45 90分間) 予定

【場所】北海道大学学術交流会館 会議室 (50人規模)

【オーガナイザー】RAネットワーク設立準備委員会メンバー

関西大学:角谷賢二(学長室シニアURA)

東海大学:田中好雄(研究計画課長)

【セッション運営コーディネーター】RAネットワーク設立準備委員会メンバー

早稲田大学:丸山浩平(研究戦略センター准教授)

同志社大学:石田貴美子(研究開発推進機構URAセンター学術研究員/URA)

【パネリスト】

①東京理科大学:名久井恒司(研究戦略・産学連携センター研究・産学連携支援部門長)

②立命館大学:中谷吉彦(産学官連携戦略本部副本部長・教授)

③早稲田大学:松永 康(研究戦略センター教授)

④同志社大学:石田貴美子(研究開発推進機構URAセンター学術研究員/URA)

⑤関西大学 :角谷賢二(学長室シニアURA)

⑥東海大学 :田中好雄(研究推進部研究計画課長)

私大セッションの進め方

1. 私大セッション開催の意義 :10分

「私立大学におけるURA・研究推進部門&人材の現状と課題」
セッション発起人を代表して:角谷賢二、丸山浩平

2. 各私大の発表(パネリスト6名の事例紹) :50分

内訳:プレゼンテーション :7分
交代時間 :1分

(持ち時間8分で6件)

3. パネリストとの討論 :30分

私立大学の研究力強化のため多様な研究推進支援体制と
URA人材・実務者のスキルアップ等々の議論(教職RA協働)

何のために？

- * 私立大学において、今後さらに研究力を伸ばし続けるために！
- * 私立大学が大学間で連携するために！

URA活動を通して 私大セッションのゴール

- * 私立大学の研究力を強化すること
- * 私立大学の改革（経営力強化・組織改革/職員力強化等）を推進に資すること
- * そのために私立大学においてURAを置く大学が増えること